

みよし議会だより

さすな

第112号

平成29年11月15日

発行／みよし市議会

編集／議会広報広聴特別委員会



目次

29年9月定例会報告、議決結果……………	P2～P3
常任委員会報告……………	P4～P6
11人が市政を問う（一般質問）……………	P7～P12
議会トピックス（行政調査報告会）……………	P12
行政調査報告……………	P13～P15
議場にモニター設置……………	P16

■ みよしの彫刻
（保田ヶ池公園：回想）

平成29年第3回定例会（9月議会）報告

9月議会は9月1日（金）～20日（水）の20日間の会期で開催。条例の制定1件、条例の一部改正3件、29年度補正予算5件、工事請負契約の締結2件、同意3件、決算認定8件、報告3件が審議されました。主な内容を報告します。（千円以下切り捨て）

条例の改正

○消費生活センターの組織及び運営等に関する条例

消費生活センターの組織及び運営並びに情報の安全管理に関する事項を定めました。

条例の一部改正

○個人情報保護条例の一部を改正する条例

個人情報、個人識別符号（マイナンバー）及び要配慮個人情報の定義を明確にしました。

○地区計画区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例

満了につき塚本武氏（任期平成29年10月1日～平成32年9月30日まで）を選任しました。

●教育委員会委員の任期満了につき日比野直子氏（任期平成29年10月1日～平成33年9月30日）松本美佐氏（平成29年10月1日～平成32年9月30日）を選任しました。

報告

●監査委員から28年度一般会計等の決算について、健全化判断比率、資金不足比率が審査され、いずれも良好な状態にあり、特に指摘すべき事項はないとの報告

●公用車を相手車両に接触させた事故の損害賠償額の決定の報告

●助生住宅大規模改修（1期）建築工事変更請負契約について399万円増額の報告

平成 29 年第 3 回みよし市議会定例会議決結果

議案番号等	議 案 名	賛 否
議案第 39 号	消費生活センターの組織及び運営等に関する条例	全員賛成
議案第 40 号	個人情報保護条例の一部を改正する条例	全員賛成
議案第 41 号	図書館学習交流プラザ設置条例の一部を改正する条例	全員賛成
議案第 42 号	地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例	全員賛成
議案第 43 号	平成 29 年度一般会計補正予算（第 2 号）	賛成多数
議案第 44 号	平成 29 年度国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）	全員賛成
議案第 45 号	平成 29 年度下水道事業特別会計補正予算（第 1 号）	全員賛成
議案第 46 号	平成 29 年度農業集落排水事業特別会計補正予算（第 1 号）	全員賛成
議案第 47 号	平成 29 年度介護保険特別会計補正予算（第 1 号）	全員賛成
議案第 48 号	工事請負契約の締結について（サンアート大規模改修（3期）舞台照明工事）	賛成多数
議案第 49 号	工事請負契約の締結について（助生住宅大規模改修（2期）建築工事）	全員賛成
同意第 17 号	固定資産評価審査委員会の委員の選任について	賛成多数
同意第 18 号	教育委員会の委員の選任について	賛成多数
同意第 19 号	教育委員会の委員の選任について	賛成多数
認定第 1 号	平成 28 年度一般会計歳入歳出決算認定について	賛成多数
認定第 2 号	平成 28 年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	賛成多数
認定第 3 号	平成 2 8 年度下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	賛成多数
認定第 4 号	平成 28 年度農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	賛成多数
認定第 5 号	平成 28 年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	賛成多数
認定第 6 号	平成 28 年度やすらぎ霊園特別会計歳入歳出決算認定について	賛成多数
認定第 7 号	平成 28 年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	賛成多数
認定第 8 号	平成 28 年度病院事業会計決算認定について	賛成多数
報告第 7 号	平成 28 年度決算に基づく健全化判断比率等の報告について	賛成多数
報告第 8 号	専決処分の報告について	――
報告第 9 号	専決処分の報告について	――
意見書第 1 号	道路整備予算の確保及び道路整備に係る補助率等のかさ上げ措置の継続を求める意見書	全員賛成

※各議員の賛否についてはホームページで確認できます。

29 年度補正予算

○一般会計補正予算

歳入歳出に14億8413万円を追加し、予算総額239億292万円とします。主なものは次の通りです。

歳入

●国庫支出金

施設型給付費負担金 1057万円
子ども・子育て支援整備交付金 1764万円

●県支出金

施設型給付費負担金 528万円
道路改良事業補助金 688万円

●繰入金

特別会計繰入金

●（株）コミュニティネットワーク配当金

702万円

●繰越金

前年度繰越金 13億2515万円

歳出

●北部小学校軒天補修工事

1300万円

●防災ラジオ購入費

628万円

●東山公園整備工事

4540万円

●老人憩いの家空調機取替

（中部・西一色・助生・黒笹）
207万円

●舗装修繕工事

（市道八和田西山線）
3250万円

●歩道築造工事

（市道細口鏡塚線）

●保育園管理運営業務委託

（天王・黒笹・助生）

2114万円

●積立金

財政調整基金

11億0000万円

○国民健康保険特別会計補正予算

53億196万円

○介護保険特別会計補正予算

20億066万円

28 年度決算認定

○一般会計

○国民健康保険特別会計

○下水道事業特別会計

○農業集落排水事業特別会計

○介護保険特別会計

○やすらぎ霊園特別会計

○後期高齢者医療特別会計

○病院事業会計

同意

●固定資産評価審査委員会委員の任期

主な審査内容

個人情報保護条例の一部を改正する条例

条例改正の趣旨、背景は。

A 個人情報保護法等の改正に伴うもので、国における「地方公共団体が保有するパーソナルデータに関する検討会」で審議され、地方公共団体で定める個人情報保護条例についても見直しをすることを求められたものです。

背景は、個人情報保護法が施行され10年以上が経過し、情報処理技術が進んだことで、電磁的記録の実態が条例による用語の定義とかい離れたことがあります。

29年度一般会計補正予算

Q 財政調整基金積立金の今後のあり方は。

A 本市の税収構造は、法人市民税の増減により大きく変動する特性があり、税収減などを想定し、財政調整基金については、最低50億円を確保していきたいと考えております。

28年度一般会計歳入歳出決算

Q 滞納となる理由は。

A 主な理由として、失業や会社の倒産、個人事業の廃業等による大幅な収入減、納税意識が希薄で滞納額が膨らんでしまったもの、家族の病気による医療費の負担増による世帯収入の減、他の債務があることによる返済の行き詰まり、みよし市に転入時に既に滞納があったなどです。

Q 寄附金の件数と、27年度決算と比較して特徴は。

A ふるさと寄附金については返礼品に陶器を入れたことで大きく伸びを示しています。28年度は84件で394万円、27年度は44件で157万円。27年度と28年度の寄附金充当メニューを変えたため事業ことの比較は難しいですが、28年度実績では、奨学金の支給事業に57件で304万円、図書等整備事業に14件で35万円、その他に55万円、合計394万円となっています。ふるさと寄附以外では、市内の個人や企業からのものがあり、大きなものでは、三好根浦特定土地区画整理事業の組合

が解散し精算したことにより300万円以上の寄附です。一般寄附について27年度は実績がありませんでした。

Q 第2次総合計画策定にあたり、力点を置いていることは何か。

A これから審議してまいります。



◎第2次みよし市総合計画策定に伴う地区まちづくり懇談会

Q 若年層アンケートの対象を中学生とした理由は。

A 新総合計画の基本計画の計画期間を10年間とする予定のため、アンケートから10年後に社会人となる人に意見を伺いたいと考え、中学2年生としました。

主な審査内容

図書館学習交流プラザ設置条例の一部を改正する条例

Q 移動式プロジェクターの利用料が1回につき630円とのことだが料金設定の根拠は。

A サンアートの料金を参考としており、年60回使用を根拠としています。

29年度一般会計補正予算

Q 北部小学校の軒先天などの補修の必要な箇所および確認は。

A 足場を組むと同時に確認していきます。

Q 他の市内の学校も一斉点検をすべきではないか。

A 学校には外壁の補修の必要な箇所の確認を依頼しています。

工事請負契約の締結

Q サンアート大規模改修（3期）の概要は、また影響は。

A 平成30年から34年は諸設備の交換・更新をし、35年～36年は大小ホールの客席とホワイエの改修、37年が大小ホールを除く改修とふるさと広場・ふるさと会館の改修になります。影響については市の開催する事業については周知しています。

Q サンアート改修に要する試算額は。

A 29億8千万円を予定しています。天井の改修・トイレの改修を追加したため、増額となりました。

Q 福祉・医療・介護長期構想策定事業で業務委託の内容は。

A 27年度に策定した「みよし市福祉・医療・介護長期構想」を受けて新たに拠点施設構想を取りまとめたもので、施設検討の背景施設の役割・基本方針などを定めました。

28年度一般会計決算

Q この構想「みよし市福祉・医療・介護長期構想」はホームページで公開されていないが。

A 早急に公開します。



◎後期高齢者医療制度パンフレット

Q 障がい者福祉計画の今後のスケジュールは。

A 今年度は審議会を行い、29年12月にパブリックコメントを実施して30年3月に計画を策定する予定です。

Q 後期高齢者福祉医療のうち県制度と市制度の違いは。

A 被保険者で一定の障がいを有する方の医療費負担を軽減するもので、県制度の対象に加え、市単独の制度として一人暮らしで市民税非課税の方・精神障がいの3級を持つ方などを対象としています。

Q 28年度末の防犯カメラ設置台数は。合計102台です。

Q 同じ場所のものを取り替える時に再申請はできるのか。

A 防犯カメラの補助金については3年間設置という基準がありますので、それを過ぎれば補助の対象になってきます。

Q 防災行政無線が聴こえないところの対処は。

A 毎月8日に実施している防災ラジオの試験放送などで、防災行政無線が聴きづらいとの連絡を受けましたら、現場を確認し状況を把握しています。その後、保守点検業者と対応方法を検討し、必要に応じてスピーカーを改修するなど、現状の改善を図ります。併せて、防災行政無線を補完する役割を持つ「防災ラジオ」、放送終了後に放送した内容を電話で聞くことができる「防災行政無線放送音声ガイドサービス」、メール配信による「みよし安心ネット」への登録について、周知・普及を進めていきます。

Q こども相談・虐待防止について継続案件に対する対応は。

A 毎月会議を開き、職員が対象児童の養育環境を確認し、必要な支援を行っています。

Q 子ども会活動について、行政区と学区区が違う場合、2つの子ども会を設置する考えは。

A 地域の意見を伺いながら検討します。

Q 小学校のコンピュータ整備事業のリース料の値上げの理由は。

A 値上げの幅は2倍くらいになります。本体やソフト関連の充実が主要原因です。

28年度介護保険特別会計決算

Q 介護認定について病気の進行が早い場合に、状況により短くできないか。

A 決定した期間の変更はできませんが状態の変化がある場合は、区分変更の認定請求が可能です。

問 財政の総括所見について。

28年度決算

答 将来的な人口減や少子高齢化対策を進めていく。先ずは子育て支援の充実、切れ目のない子育て支援を展開し、20〜30年後をみすえた財政力の確保のため、企業誘致を進めます。皆様のご支援があれば、自分の手で新たな総合計画をつくりあげたい。



◎支援センターで交流する母子

答 毎年度設置要望があり、今後も、補助制度の活用により、犯罪抑止としての効果を考え継続について検討します。



◎防犯カメラ

防犯カメラの対応と今後の取組

問 設置補助金の設置要綱が、31年に期限ですが、当局の考えは。

答 重点施策に位置づけており31年度より小学校4年生を追加し、小学校5・6年生への更なる拡大に向けた検討を進めてまいり、一人ひとりが良さを発揮できる学校づくりをします。

問 基本計画に基づき、少人数学級の今後の考え方は。

答 重点施策に位置づけており31年度より小学校4年生を追加し、小学校5・6年生への更なる拡大に向けた検討を進めてまいり、一人ひとりが良さを発揮できる学校づくりをします。

問 教育行政の振興について、28年度に於ける総括は。

答 新たに策定した教育プランにそって、「次代を担う子どもをみんな育てる」「生涯にわたってまなび続ける市民を応援する」「ふるさとみよしを創る市民を育てる」三つの柱を実現するために様々な取り組みをしました。

教育基本振興計画



富田

正(市民フォーラム・代表)

問 防犯カメラのネットワーク化について。

答 平成30年ネットワーク型カメラの設置も視野に行政区の実情に合わせ選択できるように考えます。また、設置費用の増加に対応するため、設置の費用に対する補助限度額、補助交付金要綱の見直しを検討します。

市長に市政運営を問う



山内勝利(新世紀の会・代表)

問 一期目の実績と自己評価は。

答 安心して暮らせる「みんなで築きあげる成熟したまち、みよし」を掲げ8政策23施策の実現に取り組んできました。

答 実現した施策・継続実施している施策もあり、今年中にすべての事業に着手する、評価については議員・市民の皆様が判断されると思います。自身は誠心・誠意取り組み、努めました。

答 一般会計歳入は減となったが市税は1億2千万円の増でした。図書館等の完成により、歳出減で7億1千万円の黒字で財政力指数も良好で健全な財政運営ができたと思います。

問 市民病院会計決算と所見は。

答 1億9千万円の純損失でしたが、常勤医師が採用でき診療体制が整ってきております。新たな事業として10床を地域包括ケア病床にし、患者が安心して入院できる仕組みができました。

経済建設委員会報告

委員長：阿部 憲明

主な審査内容

29年度一般会計補正予算

Q 地場産業振興事業補助金が充当された事業内容は。

A 安全・安心な地元の農産物を提供するために金属探知機本体1台とハンディタイプ12台の導入です。交付先は、あいち豊田農業協同組合です。

Q 都市公園整備事業の東山公園整備工事内容は。

A 愛知中部水道企業団から公園内の給水塔及び、用地返還の相談があり、施設の取り壊しは市で行う条件で用地の無償譲与となった。公園全体の広場整備を行います。

工事請負契約の締結

Q 助生住宅大規模改修は昨年度の1期工事で繰り越しがあるが、2期工事への影響は。

A 当初の予定どおり1期工事は本年9月に完了しました。2期工事は10月に着工し、平成31年3月22日までの工



◎田畑をイノシシから守る

期としています。

28年度一般会計決算

Q 地場産業振興事業で6次産業化支援事業の取り組みは。

A 2件の申請があり、1件は製品化され、製品名はいちご羊羹です。もう1件はみよし産のいちごとトマトの加工品を検討・試作を終えたところです。

Q 有害鳥獣捕獲事業でイノシシによる被害への対応は。

A 黒笹地区に昨年、イノシシが出現し、被害が出ています。今年度、檻を購入し、檻の仕掛けを猟友会にお願いし捕獲をしていく予定です。

Q エコエネルギー促進事業で電気自動車とハイブリット車の補助金申請件数が予定より大きく下まわっているが、要因は。

A ハイブリット車への補助金は、18年度より行なっており、約11%の世帯に補助を行ったことから、普及してきたものと考えます。

Q 行政区の環境美化指導員と所管の連携は。

A 環境美化指導員は、環境美化の普及・啓発及び、ポイ捨て等の防止に関する指導・助言で、本市が実施する活動等に協力することです。

Q 不法投棄防止対策事業で防犯カメラの設置の考えは。

A 国の事業で、不法投棄監視通報システム設置事業があり、1年に3ヶ月の貸出しがあり、本市においても活用しています。

Q 緑と花のセンター管理運営事業でふれあい農園の利用者が年々減少しているが手立ては。

A 利用者の減少対策として、ホームページへ利用者募集の掲載や新規に農

園を借りた方に野菜づくりの講習会などを行っています。

Q 道路改良事業の市道黒世三本木の進捗状況と開通予定は。

A 全延長1570mのうち道路構造物の施工が残り90mとなっています。31年度に開通予定と日進市に確認しましたが、その後、道路構造の見直し検討を行っており開通が遅れることもあるとのこと。

Q 駅周辺整備事業で基本構想の三好ヶ丘駅前市道の車線を片側2車線にするとの見直しは。

A まちづくり懇談会で見直しの意見があったように市道の車線は減らずに計画しています。



◎三好ヶ丘駅前

問 ドローン撮影により、臨場感のある、祭りPR動画を作成する考えは。

答 今年の夏の三大まつりにおいて、ドローンの活用を検討し、関係機関と協議を行いました。事故等の恐れに

みよしの祭りPR

問 今後の活用について、民間公募等も検討すべきではないか。

答 現時点では事業評価するに至っていないため、現在と同様、シルバー人材センターにお願いする考えです。今後三好ヶ丘駅前再整備の予定もあるので、状況をみて検討します。

問 本年度、商工会からシルバー人材センターに委託先が変更されたが、他にどのような提案があったか。

答 農産物の販売スペース、子供用品の販売店、無人自習室、名古屋刑務所のアンテナショップ、文化協会や児童生徒の作品展示、テーブルを設置した飲食スペースの6案がありました。

カリヨンハウスビジターセンター

問 祭りででも人の上空を避けられ、撮影可能と認識するが、今後の考えは。

答 現在三好八幡社秋の大祭、産業フェスタみよしの撮影に向けて関係者と調整を行っています。

問 祭りや花火にデジタルアートなどをコラボして、観客参加型の祭りづくりを進めてはどうか。

答 観客を集める場所の確保、照明や音など周辺環境との調整が重要となりますので、条件を含め調査します。



◎ギネス認定された大提灯のパネル

問 市内の中学校3年生を対象に陸上自衛隊高等工科学校への進学説明会の案内文書が配られた。この全寮制の学校は、通常の高校レベルの勉強もするが、自衛隊員養成のため、武器・射撃訓練、戦闘訓練等の授業と実習がある。東日本大震災等での自衛隊の救援活動

陸上自衛隊高等工科学校への進学案内

問 現在の児童数は94人で、平成34年に最大186人になると推計しています。住民が自発的にアンケートを取り、その結果行政区の同意が得られれば、教育委員会として対応します。

問 緑丘コミュニティでの地区まちづくり懇談会で、あざぶの丘の小学生が北部小に通っているが、より近くの緑丘小に変更すべきとの意見がでた。あざぶの丘の現在の児童数と今後の推移はどのようか。校区の変更について住民がアンケートを取った場合、市はその結果を尊重するか。

答 現在の児童数は94人で、平成34年に最大186人になると推計しています。住民が自発的にアンケートを取り、その結果行政区の同意が得られれば、教育委員会として対応します。

あざぶの丘の様々な問題



◎高等工科学校での戦闘訓練

問 緑丘コミュニティでの地区まちづくり懇談会で、あざぶの丘の小学生が北部小に通っているが、より近くの緑丘小に変更すべきとの意見がでた。あざぶの丘の現在の児童数と今後の推移はどのようか。校区の変更について住民がアンケートを取った場合、市はその結果を尊重するか。

答 現在の児童数は94人で、平成34年に最大186人になると推計しています。住民が自発的にアンケートを取り、その結果行政区の同意が得られれば、教育委員会として対応します。



加藤 芳文 (清翔クラブ)

には私も感謝するが、自衛隊の本来の任務は戦闘・戦争への参加である。文書配布はどのような経緯で行われたか。自衛隊員養成を目的とした学校への入学は、本人の判断力を考慮すると、中学3年生では早すぎるのでは。

答 自衛隊愛知地方協力本部の話では、6年ほど前より文書を中学校に直接持参しており、教育委員会や校長会には諮っていません。配布は進路選択の一つとしての情報提供であり、問題はな

自転車の安全に配慮した環境づくりを

問 歩行者と自転車の共用専用道路を廃止し、自転車通行スペースの確保が必要と考えるが。

答 自転車ネットワーク路線を選定し「自転車ネットワーク計画」を策定します。自転車通行空間の整備と併せ、共同専用道路を廃止する具体的な計画はないが、今後、先進地の事例を参考に検討してまいります。

問 国は自転車通行空間であることを示す標準的な仕様の路面標示を求めているが本市の考えは。

答 都市計画道路路平池天王台線と青木線の整備を行います。今後の自転車通行空間の整備は「自転車ネットワーク計画」を策定していく中で進めます。

問 自転車に乗りながらの悪質な携帯電話使用やスピードの出し過ぎ等の危険運転への対応は。

答 危険な自転車運転に対しては、豊田警察署と連携を図り、取り締まりや



◎三好ヶ丘駐輪場

街頭指導を行います。また、市の安心ステーションにおける安全指導員の巡回パトロールで自転車の安全運転の啓発に努めてまいります。

問 三好ヶ丘駅と黒笹駅駐輪場のスペース確保および、駐輪スタンドの設置を求めるがその考えは。

答 両駅の駐輪収容台数が不足のことは把握しています。三好ヶ丘駅駐輪場は一ヶ所の増設を考えています。また、駐輪場スタンドは関係機関と協議し検討してまいります。



阿部 憲明 (公明党・代表)

自治体補助金の見直し補助金が抱えている現状と問題点

問 自治体が関係団体に交付する補助金の原資は市民の税金である。役割の終わった補助金を継続して交付していることはないか。

答 役割の終わった補助金は継続して交付している補助金はありません。

問 補助金の既得権化の解消策はどのようなか。

答 4年に一度見直しを行っています。交付が固定しないように、「公益性」「必要性」「公平性」「透明性」の基本視点・個別的視点で見直しを行っています。

ICT(情報通信技術)を活用した政策形成について 政策決定にICTの活用

問 行政サービスの向上に向けた活用の取り組みはどのようか。

答 地域経済の活性化、社会保障増大、大規模災害等に対応するため、様々な分野においてICT効果的な活用利用は不可欠となっています。市は市民サ



◎ICT(情報通信技術)の活用

ービス向上のため愛知県共同利用型施設予約システムの活用、防災分野で災害情報共有システムJアラート(防災)医療・介護で豊田みよし在宅医療・介護福祉総合ネットワーク、データ活用でオープンデータとして公共施設等情報提供などICTの活用を行っています。



日置 孝彦 (清翔クラブ・代表)

行政調査報告

総務協働委員会

委員長：富田 正

岡山県 倉敷市 7月20日(木)

公共施設維持管理について

- 1 公共施設マネジメント設立の経緯
- 2 実践から始まるファシリティマネジメント
～倉敷市のポイント
- 3 ESCO 導入の経緯について
- 4 倉敷市公共施設白書について



◎倉敷市議場

岡山県 浅口市 7月21日(金)

企業立地について

- 1 企業立地に至った背景（市施行の理由）
- 2 企業立地支援制度について
- 3 現状と今後の対応策について
- 4 税制優遇に対する取り組みについて



◎浅口市での現場視察

文教厚生委員会

委員長：広瀬裕久

長野県 佐久市 7月19日(水)

健康寿命の延伸について

平均寿命を全国でもトップレベルに引き上げ、さらに「健康日本21」を基に「健康寿命」の延伸に取り組んで大きな成果を上げていました。長い歴史をもつ「保健補導員」の制度による効果が大きく、市民に広く健康への意識が浸透していました。



◎佐久市役所

長野県 中野市 7月20日(木)

健康寿命の延伸について

佐久市と同様に「保健補導員」の活躍があり、妊娠から高齢者まで、あらゆる年代を対象に保健活動を進めていました。「病気になったら治す」のではなく「病気にならない」ようにするための施策を展開しており、参考になりました。



◎中野市研修

市政を問う

一般質問

第3回定例会(9月議会)に11人の議員が、市政に対する代表質問・一般質問を行いました



広瀬 裕久 (新世紀の会)

防災・減災は

問 阪神淡路・東北大地震では地震の後に発生した火災が被害を更に大きくした。火災の原因の6割以上が地震による停電後に再通電したことによるものであった。こうした火災防止に有効な感震ブレーカーの取り付けに助成する考えはないか。

答 感震ブレーカーとは地震の揺れを感じて、通電を遮断する器具であります。県内で助成を行っている自治体もありますが、検討してまいります。

問 災害発生時の安否確認方法は。

答 地域での助け合いのなかで、住民の安全を確保して頂くことが重要です。全員の無事が確認できている家族は玄関など目立つ場所にするしを掲示する、隣近所での声かけによる安否確認・自主防災会による個別訪問などの共助により行うことが有効です。

問 異常気象により将来、雷の発生が今の1・5倍になるといふ説がある。市のデータや病院のカルテなどはほと

んど電子化されているが電子機器は雷に弱い。また、医療機器がダメージを受ければ生命に関わることもあるが落雷・停電の対策は取られているか。

答 市庁舎や病院における対策は、避雷針や避雷器により防御し、データを保護しております。停電対策につきましては電算システムや医療機器などは無停電電源に接続しており、停電時にも電力を供給してコンピューターや医療機器の破損やデータの消失を防ぐ対策を講じています。



◎災害に備えて

議会トピックス 行政調査報告会を開催

みよし市議会においては、町議会の時代から行政調査報告会を役場庁舎内にて、町長及び担当部署を対象に実施してきました。

その後、議会改革を推進する中、多くの市民に議会活動を理解していただくこと、市民と議会と行政がともに考えることを目的として、平成24年度より市民参加での開催。その後、会場を移し各地域での開催や意見交換会など改革を推進してまいりました。

市民参加型として、本年度で6回目の開催になる平成29年度は、10月21日総務協働委員会をスタートに28日経済建設委員会29日文教厚生委員会の行政調査報告会を図書館学習交流プラザ「サンライズ」にて開催し、様々なご意見を

頂くことができました。今後、皆様からのご意見を参考に各委員会にて協議を重ねる市への提言につなげてまいります。



◎行政調査報告会

地域交通対策特別委員会

委員長：岡本守直

新潟県 三条市

7月27日（木）

公共交通等の総合対策

人口減少の中、住民の足の確保を目的に、循環バス、デマンド交通、高校生通学ライナーバス事業が社会実験を経て事業展開されていた。高齢者、学生の移動性の向上。家族送迎負担の軽減。交通空白地域の移動手段の確保等の効果があるものの、利用者増が市の財政負担増につながり、各事業の役割分担の一層の効率化が求められます。



◎三条市議場



◎魚津市研修

富山県 魚津市

7月28日（金）

公共交通等の総合対策

路線バスの休廃止により、市街地・中山間地の足の確保が急務となっていた。市街地循環型は生活利便性を確保。郊外型は地域NPO法人自らルート、時刻、停留所を決定し、市街地への足が確保されていたが、地域の人的負担に課題がありタクシー協会委託としていた。市の財政負担は明確には無く市民の「移動権」を地域交通の基としていた。

経済建設委員会

委員長：阿部憲明

栃木県 那須塩原市

7月12日（水）

地元商工会の若手メンバーでまちづくり

人口は11万6千人余りでみよし市の約2倍です。今回、視察した黒磯駅周辺等の中心部は急速な人口減少が進みコンパクトな街づくりが望まれていました。このような中、地元商工会の若手メンバーを中心に駅前再整備に取り組まれたことは、大変参考になりました。



◎那須塩原市庁舎でのプレゼン



◎紫波町オガールのまち

岩手県 紫波町

7月13日（木）

公民連携で「オガール」のまちづくり

紫波町は3万3千人余りの小さな町です。少子高齢化の対応に正面から取り組まれていました。町内にJR駅を誘致し「オガール」のまちづくりを掲げ、コンパクトでにぎわいのあるまちづくりを公民連携で取り組まれた手法は高く評価できました。

オガール：紫波町の方言で、成長を意味する「おがる」とフランス語で駅を表す「ガール」を合わせ「オガール」としました。

議会広報広聴特別委員会

委員長：林 文夫

大阪府 泉大津市

7月31日（月）

議員主導によるホームページについて

「議会の活動をこれまで以上に市民に知ってもらおう」ここからホームページリニューアルに取り組まれていました。市民の心をどのように知っていくかも重要であり、ホームページにあっては議会・議員活動の情報を発信することを協議され、画像や動画の配信にも取り組み、何かを調べたくて検索する市民に対し、期待に応えられる情報提供を心掛けていました。



◎SNS活用のレクチャー



◎AR（拡張現実）の試写

滋賀県 大津市

8月1日（火）

ホームページと連動した広報戦略について

「市民に開かれた議会、分かりやすい議会を目指して」ICTを積極的に活用し、広報紙だけではなくHPやインターネット中継、SNS、アプリなどICT化を進めていました。主な事業として、広報紙の各所に「クリック to リンク」を配置（HPに誘導）。市議会だより速報版、特別号外の発行にも取り組み、市民のおもいこどいどのように応えるか、新しい試みに取り組まれていました。

議会運営委員会

委員長：山内勝利

京都府 亀岡市

7月5日（水）

政務活動員の活用・議会基本条例の取り組みについて

議会基本条例の見直しについて、22年10月に制定以降何度も見直しを行い、市民参加の拡充について積極的に取り組んでいました。また、市民情報コーナーで政務活動費の収支報告書に領収書の写しを添付し公開されていました。



◎亀岡市



◎玉野市

岡山県 玉野市

7月6日（木）

政務活動員の活用・議会基本条例の取り組みについて

市財政の悪化により議員定数を削減したが、協議事項が多く、委員会運営に苦慮されていました。また、政務活動費の収支報告書・領収書の公開方法にインターネットを追加したり、議会報告会の見直しについても検討されていました。

議場傍聴席にモニター設置！

市役所受付横には議員出退表示板

傍聴席のモニター



昨年度、市議会は「より親しまれる議会」を目指し、議場にモニターの設置を提案しました。

議場モニターは他市町では珍しくありませんが、みよし市の議場傍聴席からは一般質問の際などに議員の顔が確認出来なかったため、傍聴に来られた方々に発言する議員の表情

が分かり、より身近に感じられるよう要望いたしましたところ、今年度予算化され実現しました。

これにより議会で発言する議員もやりがいを感じることが出来れば、議員活動の励みにもなります。

市の施策に対する疑問や、地域の課題の改善に向かう議員を是非とも応援していただきたいと思

います。

同時に7階の議場傍聴席の入口に設置されていた議員の出退表示板を1階総合案内の横に移設することで、どの議員が登庁しているかが一目分

今号は委員会活動の行政調査について掲載しました。みよし市議会の行政調査は、「調査・研究のテーマ決定」→「視察項目レクチャー」→「先進自治体での調査・意見交換」→「調査内容取りまとめ」→「行政調査報告会の開催・市民の方々の意見交換」→「市長に提案書を提出」の流れで活動を進めています。今後もさらに開かれた議会を目指し、議会の活動をお伝えしてまいります。

議会広報広聴特別委員会委員一同

編集後記

次回定例会のご案内

平成29年第4回定例会の予定は次のとおりです。

会期	12月11日(月)～25日(月)
一般質問	12月12日(火)～13日(水)
議案質疑	12月15日(金)
〔委員会〕	
総務協働委員会	12月18日(月)
文教厚生委員会	12月19日(火)
経済建設委員会	12月20日(水)

本会議等の傍聴を希望される方で、手話通訳等の必要な方は7日前までに事務局にお申し出ください。